

V129b Japanese Virtual Observatory (JVO) を通じた野辺山 45m 電波望遠鏡レガシープロジェクト COMING および FUGIN の観測データ公開プランについて

鳥居和史, 白崎裕治, Zapart Christopher, 宮本祐介, 金子紘之 (国立天文台), 徂徠和夫 (北海道大学), 南谷哲宏, 梅本智文, 大石雅寿, (国立天文台)

国立天文台野辺山宇宙電波観測所および同天文データセンターは、共同で Japanese Virtual Observatory (JVO) を通じた野辺山 45m 電波望遠鏡レガシープロジェクト COMING および FUGIN の観測データ公開の準備を進めている。公開は 2018 年 6 月 1 日を予定しており、COMING では観測された 100 を超える銀河の ^{12}CO , ^{13}CO , C^{18}O ($J=1-0$) 輝線の強度較正済み 3 次元 fits データを、一方の FUGIN では観測された銀河面第 1 象限 ($l = 10^\circ-50^\circ$, $b < |1^\circ|$) の 80 平方度および第 3 象限 ($l = 198^\circ-236^\circ$, $b < |1^\circ|$) の 50 平方度をカバーする ^{12}CO , ^{13}CO , C^{18}O ($J=1-0$) 輝線の強度較正済み 3 次元 fits データを公開する。また、CO 輝線データに加え両プロジェクトでは独自のサプリメントデータの公開準備も進めており、本ポスターではその詳細も案内する。以上のデータの公開に向け、JVO では COMING および FUGIN のページを独立に設け、公開データの一覧表、個別データの直接ダウンロードおよび複数データのスクリプトによる一括ダウンロード機能、天体名および座標によるデータ検索機能、ウェブベースの Quick Look (webQL) を用いたデータのプレビュー機能等の搭載を予定している。本ポスターでは、以上の公開データのと JVO に実装される機能の詳細を紹介すると共に、レガシープロジェクト以外での野辺山 45m 電波望遠鏡と JVO との今後のさらなる連携について将来計画を展望したい。